

第1部配布資料

計画記載においてよくある間違いについて

平成28年5月16～20日
電力広域的運営推進機関

1. 計画エラー

2. 計画内エラー

2-1 翌日FIT計画に関連するエラー

2-2 計画変更に関連するエラー

2-3 その他エラー

3. 計画間エラー

参考 1. 過去のエラー事例

2. FIT関連 参考資料

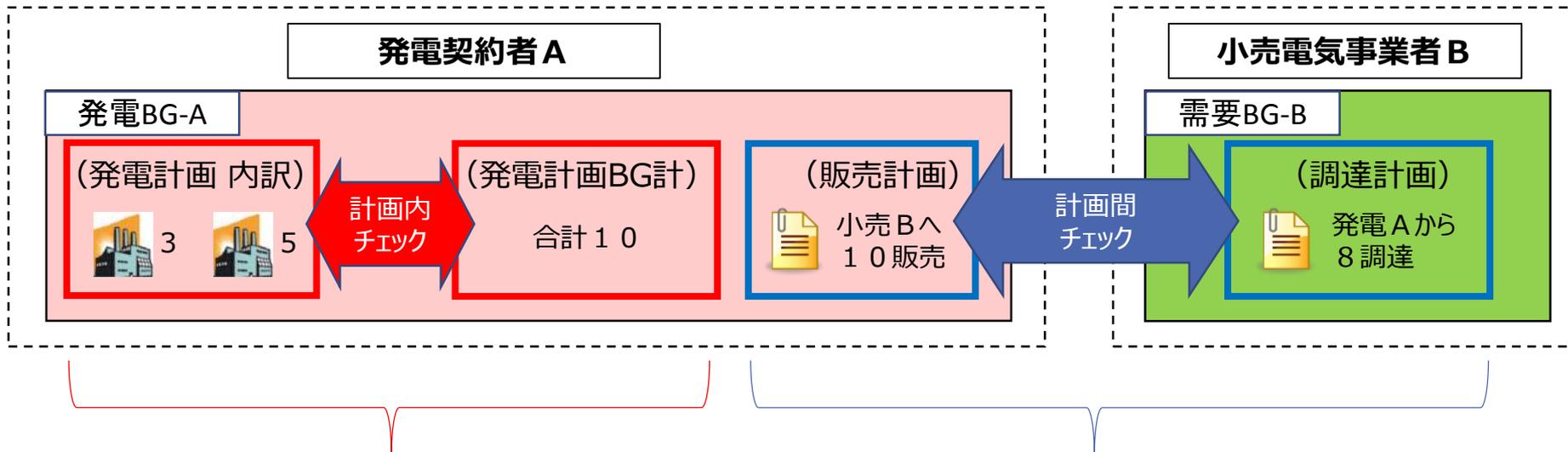
3. 作業停止計画の提出について

4. 各種資料参照先

1. 計画エラー

発電販売計画

需要調達計画



① 計画内エラー

コードの誤り、
自計画内での計画値の齟齬など

【今回のケース】
ΣBG内の発電計画内訳 (3+5)
≠ 発電計画BG計 (10)

② 計画間エラー

他の計画との取引における
コードの誤りや計画値の齟齬、
他の計画を含めた合計値の制約違反など

【今回のケース】
販売計画 (10) ≠ 調達計画 (8)

**※ 計画内エラーチェックを実施後、
正常と判断されたものが計画間エラーチェックに進む**

2. 計画内エラー

- (1) 翌日FIT計画の提出に関するエラー
- (2) 計画変更の提出に関するエラー
- (3) 必要なデータ（タグ）を提出していないエラー（特に合計値）
- (4) 発電上限・下限制約エラー
- (5) その他

2-1. 翌日FIT計画に関連するエラー

2-1-1) 翌日FIT計画の登録手順について

【概要】

- ・FIT特例制度①では、小売電気事業者と一般送配電事業者の双方が計画を入力するため、登録状態（ステータス）を管理しています。
- ・ステータス1, 2, 3の各計画は、（翌日FIT）発電販売計画【情報区分コード0152】を使用して計画受付システムに登録します。
- ・ステータス3の計画が登録されると、計画受付システムが（翌日）発電販売計画【情報区分コード0150】の計画を自動作成し広域機関システムに提出します。
- ・提出された計画に対してエラーチェックを実施し、エラーがなければ広域機関システムに翌日計画として登録されます。

処理手順	入力者	計画作成業務	
		太陽光・風力	水力・地熱・バイオマス
ステータス1 (注1)	小売電気事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・翌日計画のファイル作成 ・BGコード、系統コード等の基本情報の入力 	<ul style="list-style-type: none"> ・翌日計画のファイル作成 ・BGコード、系統コード等の基本情報の入力 ・発電計画値の入力
		↓	
		~前々日12時	
ステータス2	一般送配電事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・発電計画値の入力 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電計画値の妥当性確認
		↓	
		~前々日16時	
ステータス3 (注2)	小売電気事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・発電計画値の展開（部分買取り、発電地点別の発電計画値が必要な場合） ・販売計画の入力 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売計画の入力
		↓	
		~前日12時	
翌日計画の提出（エラーチェック正常により登録完了）			

注1) ステータス1のファイルは、2年度分を事前に作成・登録ができますので、忘れずに作成ください。

注2) ステータス3を登録するためには、ステータス2が計画受付システムに登録されている必要があります。

【FIT特例制度①を適用する場合】

- ・一般送配電事業者は、特例発電BG毎の発電計画値をステータス 2 として登録することで、小売電気事業者へ計画値を通知します。（参考資料に詳細を記載）
- ・小売電気事業者は、ステータス 3 の計画作成にあたり、部分買取り発電所の仕訳情報として「発電計画 内訳」を入力する場合は、「発電計画BG計」がステータス 2 で一般送配電事業者から通知された値と一致するようにご注意ください。
- ・小売電気事業者がステータス 3 で登録した「発電計画BG計」値が、一般送配電事業者が通知した値と一致しない場合は、エラーチェックにより計画内エラーと判定されます。

2-1-2) FIT特例制度①計画提出における注意点について

・具体例

【ステータス2】：一般送配電事業者の入力（発電BG No.1に発電計画600を配分）

	発電計画 発電BG No.1						
	発電計画BG計	発電計画 内訳No.1			発電計画 内訳No.2		
時間帯	発電計画 BG計	広域太陽光発電所A（全量買取）			広域太陽光発電所B（部分買取）		
		発電計画	発電上限	発電下限	発電計画	発電上限	発電下限
12:00～12:30	600	600	600	600			

【ステータス3】：小売電気事業者の入力（内訳No.2に仕訳情報200を配分）

	発電計画 発電BG No.1						
	発電計画BG計	発電計画 内訳No.1			発電計画 内訳No.2		
時間帯	発電計画 BG計	広域太陽光発電所A（全量買取）			広域太陽光発電所B（部分買取）		
		発電計画	発電上限	発電下限	発電計画	発電上限	発電下限
12:00～12:30	600	400	400	400	200	200	200

内訳No.1を600⇒400に修正する必要があります

◆注意事項

- ・ステータス3の「発電計画BG計」は、ステータス2で一般送配電事業者から通知された「発電計画BG計」と一致するようにご注意ください。
- ・仕訳情報を入力した場合、一般送配電事業者が配分した発電計画および発電上限、発電下限を部分買取分だけ減算（修正）が必要です。

2-1-3) システム登録日時について

- 新規で計画提出する場合以外（既にシステム登録されているものを送信する場合）は、広域機関システム内の「システム登録日時」と一致した計画を提出する必要があります。
- 入力支援ツールの場合は、「FIT計画登録一覧」画面に登録された最新計画（XMLファイル）をダウンロードし、計画値XML読込を行うことでシステム内の登録日時が取り込まれます。最新計画を使用し、計画値やステータス等の変更を行い、XML出力した計画を提出してください。

(翌日FIT)発電販売計画						
計画値XML読込	対象年月日	2016/4/1	FIT用ステータス	2.発電計画値(太陽光・風力)登録済	システム登録日時	20160318101041364
通知XML読込	基本情報	コード	名称 [▲]	出力ファイル名情報	XMLファイル名	W6002_20160401_02_49993_3.xml
FIT登録XML読込	情報区分	0152	(翌日FIT)発電販売計画	BPID副機関コード	WP	
計画値XML出力	提出先事業者	10033	東京電力パワーグリッド株式会社	情報区分コード	0152	
	送信事業者	49993	株式会社 広域エネルギーサービス	対象時期の開始日	20160401	
	BG/計画提出者	G8XX3	株式会社 広域エネルギーサービス	分割番号	02	
	運用モード	通常		送信事業者コード	49993	
				提出先エリアコード	3	

システム登録日時が合っていることを確認したうえで提出ください。

※ (翌日 F I T) 発電販売計画の表示桁数 (年月日、時分秒 + 3 桁) と、
F I T 計画登録一覧 (年月日、時分秒) の表示桁数は異なります。

2016/03/16 【連系線等の運用】『連系線空容量等の公表の延期に関するお知らせ』を掲載いたしました。詳細は「その他情報」各種情報参照。各種情報（カテゴリ：連系線等の運用）」をご確認ください。

検索条件

事業者名: OCCTO 提出元事業者名: [検索]

提出日: [検索] ~ [検索] システム登録日: 2016/03/12 ~ 2016/04/12

対象年月日: [検索] ~ [検索]

FIT用ステータス: 1:発電計画登録済 2:発電計画値(太陽光・風力)登録済 3:発電販売計画提出済

保存状態: 選択なし 一時保存 登録/提出済

FIT計画管理番号: [検索]

条件クリア 検索

新規 参照

検索結果

対象年月日	提出元事業者名	FIT用ステータス	受付ステータス	提出日時	システム登録日時	FIT計画管理番号
					2016/03/18 10:10:41	

◆ 注意事項

- 広域機関システム内のシステム登録日時と異なる計画が提出された場合、受付ステータスにエラーメッセージ「再確認/更新待ち」を表示します。
- ただし、ステータス 1（およびステータス 2）を新規で提出する場合は、空欄または任意の時間を許容しています。

2-1-4) 受付ステータスについて

【WEB画面】FIT計画登録一覧

ステータス	受付ステータス	具体例
1	「受付済み（小売事業者）」	（ステータス1を登録） ※小売電気事業者がステータス2のファイルを取得した後、誤ってステータス1（「1.発電計画登録済」）を登録 → ステータス2を再登録する必要があります。一般送配電事業者にご相談ください。
2	「受付済み（一般送配電事業者）」 「一般送配電事業者再確認/更新待ち」（注1） ……エラー	（ステータス2を登録） ※前々日16時を過ぎて「受付済み（一般送配電事業者）」にならない場合は、一般送配電事業者にご確認ください。 一般送配電事業者がステータス1のファイルを取得した後に、小売電気事業者がステータス1を再登録し、一般送配電事業者が再登録したものを使わずにステータス2を作成・登録 → 再登録されたステータス1を使ってステータス2を作成・登録してください。
3	「計画提出済み」 「小売事業者再確認/更新待ち」（注1） ……エラー	（ステータス3を登録） ① 小売電気事業者がステータス2のファイルを取得せずに、ステータス1のファイルからステータス3を作成・登録 → ステータス2のファイルを取得して、ステータス3を作成・登録してください。 ② 小売電気事業者がステータス2のファイルを取得した後に、一般送配電事業者がステータス2を再登録し、小売電気事業者が再登録したものを使わずにステータス3を作成・登録 → 再登録されたステータス2を使ってステータス3を作成・登録してください。
その他	「受付エラー（小売事業者）」……エラー	→ 必須項目の未入力など、提出した計画内容に不備があります。計画を修正し、再提出してください。

注1) 広域機関システムではステータス1、2、3の登録時刻を保持しています。（翌日FIT）発電販売計画とWEB画面の「システム登録日時」が合わない計画が提出されるとエラーになります。

2-1-5) 分割番号の設定について

- ・広域機関システムに（翌日FIT）発電販売計画のステータス3登録が完了すると、情報区分コードが「0152」⇒「0150」に自動変換され、（翌日）発電販売計画としてシステムに提出されます。
- ・1つの計画を分割して提出する場合は、各々の計画の分割番号が重複しないようにご注意ください。

（翌日FIT）発電販売計画

出力ファイル名情報	
XMLファイル名	W6_0152_20160401_02_49993_3.xml
BPID副機関コード	W6
情報区分コード	0152
対象時期の開始日	20160401
分割番号	02
送信事業者コード	49993
提出先エリアコード	3

データ項目	説明
XMLファイル名	以下のデータ項目を用いて作成。
BPID副機関コード	W6で固定値。
情報区分コード	<基本情報> 情報区分コード。
対象時期の開始日	<対象年月日他> 対象年月日または対象期間開始年月日。
分割番号	<ul style="list-style-type: none"> ・分割しない場合は「00」。 ・分割する場合は1つ目のファイルには「01」、2つ目のファイルに「02」、以降同様に入力。
送信事業者コード	<基本情報> 送信事業者コード。
提出先エリアコード	<基本情報> 提出先事業者コードの下1桁。

◆注意事項

- ・同一ファイル名の計画を複数提出した場合、後述する計画変更に沿った変更がなされます。
（FITステータス1,2,3の登録時はファイル全体の置換となります）
- ・ファイルの分割番号のみ変更したファイルを提出した場合、前の計画と後で送った計画が加算（ダブルカウント）されます。修正する場合は、片方のファイルの計画値をすべてゼロにして再提出してください。

2-2. 計画変更に関連するエラー

・上書きする条件

＜需給バランス、供給バランス等＞

ファイル名（分割番号含む）

＜販売計画・調達計画＞

ファイル名（分割番号含む）、取引先コード

※需要調達計画の場合は事業者コード(小売電気事業者)も

＜発電計画＞

ファイル名（分割番号含む）、発電BGコード、系統コード

＜連系線利用計画＞

申込番号、計画提出目的

（詳細には上記に加えて、時刻コード、順番（後述）もキーとなる）

・提出の無い場合、「ブランク」の提出の場合は「変更しない」

・一旦提出した計画を取り下げる事はできません

2-2-1) 計画変更のポイント

記載要領 P.76

当日計画の変更および1時間前取引約定後の計画値は、ゲートクローズ(GC)後の30分コマは、「前回提出時の計画値」または「空白」で提出が可能です。

ゲートクローズ後の30分コマが「前回提出時の計画値」と異なる場合はエラーとなります。

対象計画：需要調達計画、発電販売計画（計画値同時同量）

※ 当日計画による変更は、計画作成誤りなどを考慮して、余裕を持って対応されることをおすすめします。

時間帯		調達計画 (kWh)	
		変更前 (参考)	変更後
.....		100	
3:30~4:00		100	
4:00~4:30	◆【4:10提出】	100	100
4:30~5:00		100	100
5:00~5:30		100	100
5:30~6:00		100	200
6:00~6:30		100	200
6:30~7:00		100	0
7:00~7:30		100	

GC後の30分コマ

空白、または前回提出時の計画値
※前回提出時の計画値と異なる
とエラー

当日計画の変更、または1時間
前取引約定量

ゼロを入力すると計画がゼロに変
更されます。

空白の場合は、計画は変更さ
れません（この例では100）。

(例1) 4:10に計画変更を提出する場合 ※GC後の30分コマ (0:00~5:30)
「0:00~5:30」の30分コマは空白または翌日(当日)計画の値 ⇒ 受付
「0:00~5:30」の30分コマに翌日(当日)計画以外の値 ⇒ 受付エラー

(例2) 15:45に計画変更を提出する場合 ※GC後の30分コマ (0:00~17:00)
「0:00~17:00」の30分コマは空白または翌日(当日)計画の値 ⇒ 受付
「0:00~17:00」の30分コマに翌日(当日)計画以外の値 ⇒ 受付エラー

2-2-2) 計画変更の基本手順

- ・策定までの計画変更の基本手順
全列・全コマ提出が基本

例) 以下の初回提出の計画において、「販売計画内訳2の0:30～1:00コマを0→100に変更したい」
→ 計画全体を再提出 (①を提出)

初回提出 時間帯	供給バランス			発電計画						販売計画		調達計画	
	販売 計画 合計	発電 計画 合計	調達 計画 合計	発電BG No.1			発電BG No.2			内訳 1	内訳 2	内訳 1	内訳 2
				BG 計	内訳 1	内訳 2	BG 計	内訳 1	内訳 2				
0:00～0:30	200	100	100	50	0	50	50	0	50	100	100	100	0
0:30～1:00	150	50	200	50	0	50	0	0	0	150	0	100	100
1:00～1:30	300	100	200	50	0	50	50	50	0	200	100	100	100
.....
23:30～24:00	300	100	200	100	50	50	0	0	0	100	200	100	100

① 時間帯	供給バランス			発電計画						販売計画		調達計画	
	販売 計画 合計	発電 計画 合計	調達 計画 合計	発電BG No.1			発電BG No.2			内訳 1	内訳 2	内訳 1	内訳 2
				BG 計	内訳 1	内訳 2	BG 計	内訳 1	内訳 2				
0:00～0:30	200	100	100	50	0	50	50	0	50	100	100	100	0
0:30～1:00	250	50	200	50	0	50	0	0	0	150	100	100	100
1:00～1:30	300	100	200	50	0	50	50	50	0	200	100	100	100
.....
23:30～24:00	300	100	200	100	50	50	0	0	0	100	200	100	100

2-2-2) 計画変更の基本手順

・通告変更の基本手順

策定同様、全列・全コマの提出が基本。

変更コマのみの提出も可。

変更箇所だけの提出も可、ただし提出の仕方に注意が必要。

例) 前頁記載の初回提出の計画において、「販売計画内訳2の0:30～1:00コマを0→100に変更したい」

-
- ①全列・全コマの提出（策定同様）
 - ②変更コマの全列提出
 - ③変更箇所だけの提出も可能（要注意※）

② 時間帯	供給バランス			発電計画						販売計画		調達計画	
	販売 計画 合計	発電 計画 合計	調達 計画 合計	発電BG No.1			発電BG No.2			内訳 1	内訳 2	内訳 1	内訳 2
				BG 計	内訳 1	内訳 2	BG 計	内訳 1	内訳 2				
0:30～1:00	250	50	200	50	0	50	0	0	0	150	100	100	100

③ 時間帯	供給バランス	販売計画
0:30～1:00	販売計画合計 250	内訳2 100

※要注意

本例で販売計画合計を100と提出すると
DB上の販売計画合計も100と上書きされるので注意
(他の合計値等も同様)

2-2-3) 計画変更の動作例

以下の例で取引先Cの計画値を変更する方法は、以下の2通りがあります。

記載要領 P.82

- 方法1 2回目提出時に取引先A,Bを変更せず、取引先Cの計画値をゼロとした場合、広域機関システムでは、取引先A,B,Cは2回目提出値となり取引先Cの計画はゼロとして登録されます。

計画提出者（初回提出）				→	広域機関システムデータベース			
取引先	A	B	C		取引先	A	B	C
計画値	10	20	30		計画値	10	20	30

計画提出者（2回目提出）				→	広域機関システムデータベース			
取引先	A	B	C		取引先	A	B	C
計画値	10	20	0		計画値	10	20	0

- 方法2 2回目提出時に取引先A,Bを提出せず、取引先Cの計画値をゼロとした場合、広域機関システムでは、取引先A,Bは前回提出時の値のまま、取引先Cの計画はゼロとして登録されます。

計画提出者（初回提出）				→	広域機関システムデータベース			
取引先	A	B	C		取引先	A	B	C
計画値	10	20	30		計画値	10	20	30

計画提出者（2回目提出）				→	広域機関システムデータベース			
取引先			C		取引先	A	B	C
計画値			0		計画値	10	20	0

2-2-4) 計画変更時のよくある入力ミス

- 入力ミス等により系統コード（キー項目）を修正する際の手順ミス

計画提出者（初回提出）

系統コード	合計	A	B
計画値	50	20	30



広域機関システムデータベース

系統コード	合計	A	B
計画値	50	20	30

系統コードにBと書いて提出したけど、Cの間違った事が判明した場合

計画提出者（2回目提出）

系統コード	合計	A	C
計画値	50	20	30



広域機関システムデータベース

系統コード	合計	A	B	C
計画値	50	20	30	30



合計値も異常

Bは提出されていないため「変更無し」

※発電BGコード、小売電気事業者コード、各種取引先コードなども同様

以下が適切な手順：

計画提出者（2回目提出）

系統コード	合計	A	B	C
計画値	50	20	0	30



広域機関システムデータベース

系統コード	合計	A	B	C
計画値	50	20	0	30

2-2-4) 計画変更時のよくある入力ミス

- ・需要調達計画では申込番号がキーにならない（順番がキーになる）

例) 需要調達計画) 調達計画 同一取引先から複数の申込番号で調達
以下のような初回提出と変更を想定

初回提出	調達計画		
取引先	取引先A	取引先A	取引先A
申込番号	AAAA	BBBB	CCCC
0:00~0:30	100	50	20
0:30~1:00	100	50	20
1:00~1:30	100	50	20
.....
23:30~24:00	100	50	20

変更①	調達計画		
取引先	取引先A	取引先A	取引先A
申込番号	BBBB	CCCC	AAAA
0:00~0:30	50	20	100
0:30~1:00	50	20	100
1:00~1:30	50	20	100
.....
23:30~24:00	<u>100</u>	<u>40</u>	<u>200</u>

0:00~0:30コマのGC前
→ 変更①は受領される

0:00~0:30コマのGC後
→ 変更①は受領されない

2-3. その他エラー

2-3-1) 上下限制約違反

発電計画においては、以下制約があります。当該制約を違反した場合、計画内エラーとなります。

(上限制約) 発電計画 ≤ 発電上限

(下限制約) 発電下限 ≤ 発電計画

(上限制約の例)

時間帯	発電計画	発電上限	発電下限
0:00-0:30	100	100	100
0:30-1:00	100	100	100
1 1:00-1:30	120	100	50
1:30-2:00	100	100	50
2:00-2:30	100	100	50
2 2:30-3:00	110	100	50
3:00-3:30	90	100	50

(下限制約の例)

時間帯	発電計画	発電上限	発電下限
0:00-0:30	100	100	100
0:30-1:00	100	100	100
1:00-1:30	75	75	50
1:30-2:00	50	50	50
2:00-2:30	0	50	50
2:30-3:00	0	50	50
3:00-3:30	50	50	50

※上限・下限が「空白」でも当該エラーとなります

XMLの構造自体が不十分なケースも見受けられます。

(調達計画合計、販売計画合計などのデータ自体が無いなど)

正しいXMLの構造・体系のご確認には以下のような手法があります。

- ・説明資料

「発電計画等受領業務 ビジネスプロトコル標準規格（計画値同時同量編）（Ver.3A）」

URL：https://www.occto.or.jp/jigyosha/shisutemurenkei/files/hatudenkeikakuBP_V3A.pdf

- ・入力支援ツールにてテストデータをご作成いただき、各社作成のXMLとご比較ください。

- ・入力支援ツールでは合計値等は自動計算されます。

各社にて作られたXMLの合計値のご確認には、入力支援ツールで該当XMLを読み込んだ後、入力支援ツールでXML出力を行い、当初のXMLと入力支援ツールで出力されたXMLを比較してみる、といった手法で合計値のチェックを行う事もできます。

以下のような入力ミスも見られますのでご注意ください。

- ・マイナスが入力されている

販売計画、調達計画などの計画値においてマイナスの入力例があります。
(他にも変更計画時に差分としてマイナスの提出など)

→ 正の値を入力してください

- ・kW値とkWh値が正しく変換されていない

翌日計画などのkWhは30分単位であるため、kW⇔kWh間の関係にご注意ください。

100kW 1時間コマ 1コマ = 50kWh 30分コマ 2コマ

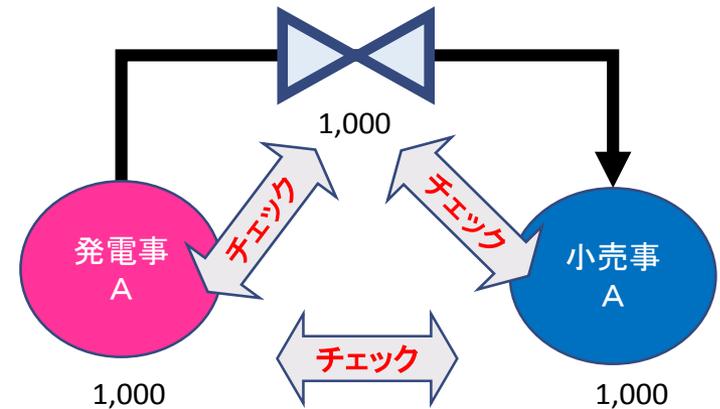
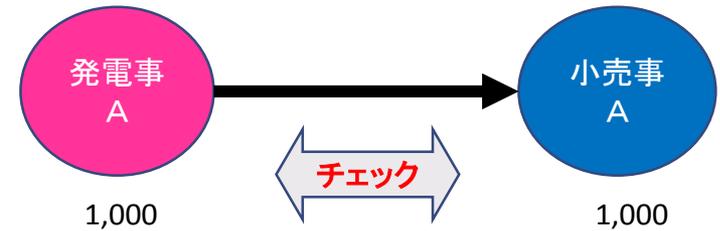
- ・翌日計画の提出時に1時間前市場の取引量を調達計画または販売計画に入力している
約定結果が出る(取引量が確定する)前に入力しないでください。

3. 計画間エラー

3-1) 計画間エラーチェックの概要

<取引のチェック>

- 販売→調達のチェック
取引先コード・計画（相手先）を見つける
相手先に自分のコードの記載を確認
両者の計画値の一致を確認
- 連系線利用計画のチェック
上記に加えて、申込番号の一致を確認
（翌日需調の調達計画）



<複数計画合計のチェック>

- 同時最大受電電力のチェック
系統コード毎の発電計画が同時最大受電電力（マスター値）以下であること
- 地内潮流制約のチェック など

3-2) 取引チェックの概要 : 販売→調達のチェック

- ①取引先コード・計画（相手先）を見つける
- ②相手先に自分のコードの記載を確認
- ③両者の計画値の一致を確認

例) 発電側) 販売計画→小売側) 調達計画のチェック

基本情報	コード	名称
情報区分	0150	(翌日)発電販売計画
提出先事業者	10033	東京電力EP
送信事業者	49983	広域パワー
BG/提出事業者	G8883	広域P発電BG

②

		販売計画	
取引先コード	LDDDD3	LXXX3	
0:00~0:30	100	100	
0:30~1:00	150	0	
.....	
23:30~24:00	100	200	

①

③

基本情報	コード	名称
情報区分	0250	(翌日)需要調達計画
提出先事業者	10033	東京電力EP
送信事業者	49983	広域パワー
BG/提出事業者	LDDDD3	広域P需要BG

		調達計画	
取引先コード	G8883	GBBC23	
0:00~0:30	100	100	
0:30~1:00	150	0	
.....	
23:30~24:00	100	200	

3-3) 取引チェックのエラー例・要因分析：コード

発電側／発電販売計画

計画値XML読込	対象年月日	2016/4/1
通知XML読込	基本情報	
計画値XML出力	コード	
終了(上書保存)	情報区分	0150 (送)
	提出先事業者	10022 東
	送信事業者	49982 広
	BG/計画提出者	G8882 広
	運用モード	通常

販売計画	
販売計画 内訳 No.1	
取引先コード	LDDD3
取引先名▲	広域パワー(需要BG東京)
電源特定コード▲	
広域指示	指示なし

小売側／需要調達計画

計画値XML読込	対象年月日	2016/4/1
通知XML読込	基本情報	
計画値XML出力	コード	
終了(上書保存)	情報区分	0250 (送)
	提出先事業者	10033 東
	送信事業者	49983 広
	BG/計画提出者	LDDD3 広
	運用モード	通常

取引先コード	GAXX2
取引先名▲	広域パワー(計画提出者東北)
電源特定コード▲	
広域指示	指示なし
自動紐付除外	自動紐付除外なし
番号	029999999999

不整合エラー

提出された計画から
相手の取引先コードを検索
→ 見つからず (エラー)

<誤入力例>

- ・「取引先コード」に相手の「発電BGコード」を入力してしまう (上記例)
- ・「BG/計画提出者コード」に「発電BGコード」を入力してしまう
- ・エリアコードを入力し忘れる (例：49982を提出しないといけない際に4998を提出)
- ・誤ったエリアコードを入力してしまう (例：49982を提出しないといけない際に49983を提出)

(翌日)発電販売計画

記載要領 P.86

- 計画値XML読込
- 通知XML読込
- 計画値XML出力
- 終了(上書保存)

対象年月日	2016/4/1	
基本情報		
	コード	名称▲
情報区分	0150	(翌日)発電販売計画
提出先事業者	10022	東北電力
送信事業者	49982	広域パワー
BG/計画提出者	G8882	広域パワー(計画提出者東北)
運用モード	通常	

利用計画情報(広域パワー(東北⇒東京)) No.1

申込番号	0320160311X01
申込計画名▲	広域パワー(東北⇒東京)
(送電側)BG/計画提出者コード	G8882
(送電側)電源特定コード▲	
(受電側)系統コード(エリア)	30000 東京工場
(受電側)BG/計画提出者コード	LDDD3

計画提出者コード使用箇所
 「BG/計画提出者コード」「取引先コード」
 1文字目が「G」
 2文字目が数字になっているのを確認してください

調達計画 内訳 No.1

取引先コード	G8882
取引先名▲	広域パワー(計画提出者東北)
電源特定コード▲	
広域指示	指示なし
自動紐付除外	自動紐付除外なし
申込番号	0299999999999

発電BGコード使用箇所
 「発電BGコード」
 1文字目が「G」
 2文字目がアルファベットになっているのを確認してください

発電計画 発電BG No.1

発電BGコード	GBBC2
発電BG名▲	広域パワー(火力)BG
契約識別番号1	00000000000000DUMMY

コード種別	コード使用箇所	体系 記載要領 P.86
発電BGコード 例) GBBC2	<ul style="list-style-type: none"> ・発電販売計画における「発電計画」の「発電BGコード」 ※「取引先コード」「BG/計画提出者コード」には「計画提出者コード」を使用（発電BGコードは使用不可）	<ul style="list-style-type: none"> ・全5文字 ・1文字目は「G」 ・2文字目は<u>アルファベット</u> ・5文字目はエリアコード1桁
計画提出者コード 例) G8882	<ul style="list-style-type: none"> ・発電販売計画における「基本情報」の「BG/計画提出者コード」 ・各種計画の発電BGとの取引における「取引先コード」 ・連系線利用計画における「利用計画情報」の「BG/計画提出者コード」 	<ul style="list-style-type: none"> ・全5文字 ・1文字目は「G」 ・2文字目は<u>数字</u> ・5文字目はエリアコード1桁
需要BGコード 例) LDDD3	<ul style="list-style-type: none"> ・需要調達計画における「基本情報」の「BG/計画提出者コード」 ・各種計画の需要BGとの取引における「取引先コード」 ・連系線利用計画における「利用計画情報」の「BG/計画提出者コード」 	<ul style="list-style-type: none"> ・全5文字 ・1文字目は「L」 ・2文字目はアルファベット ・5文字目はエリアコード1桁

※「計画提出者コード」と「発電BGコード」の間違いが多発しています！

3-3) 取引チェックのエラー例・要因分析：コード（申込番号）

記載要領 P.84

間違い例) 連系線利用計画の申込番号と需要調達計画の申込番号が異なる
 → 連系線利用計画の申込番号と需要調達計画の申込番号は同じにする

需要調達計画

調達計画 内訳 No.1	
取引先コード	G8882
取引先名 [▲]	広域パワー(計画提出者東北)
電源特定コード [▲]	
広域指示	指示なし
自動紐付除外	自動紐付除外なし
申込番号	0320160311X01

連系線利用計画

利用計画情報(広域パワー(東北⇒東京)) No.1		
申込番号	0320160311X01	
申込計画名 [▲]	広域パワー(東北⇒東京)	
(送電側)BG/計画提出者コード	G8882	広域パワー(計画提出者身)
(送電側)電源特定コード [▲]		
(受電側)系統コード(エリア)	30000	東京エリア
(受電側)BG/計画提出者コ	LD33	広域パワー(需要BG東京)

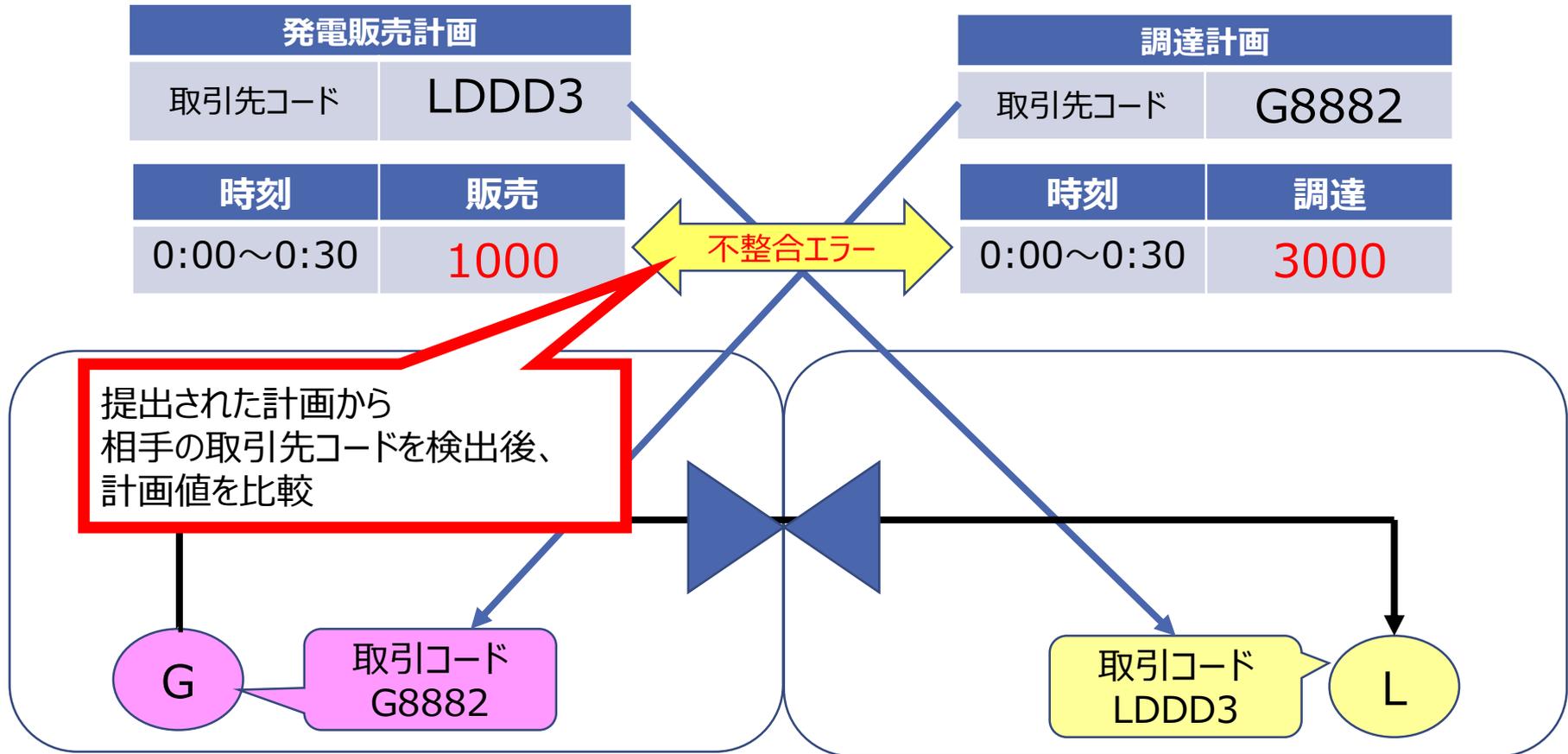
連系線利用時

エリアコード2桁 + YYYMMDD + 連番

※エリアコード2桁

エリア名	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
エリアコード2桁	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10

3-3) 取引チェックのエラー例・要因分析： 計画値



事例	エラー内容
コードの設定間違い	設定間違いにより、相手先（関連する計画）が見つけれないエラー
計画値の入力間違い	単純な入力間違い、事業者間の連絡不備による誤認識

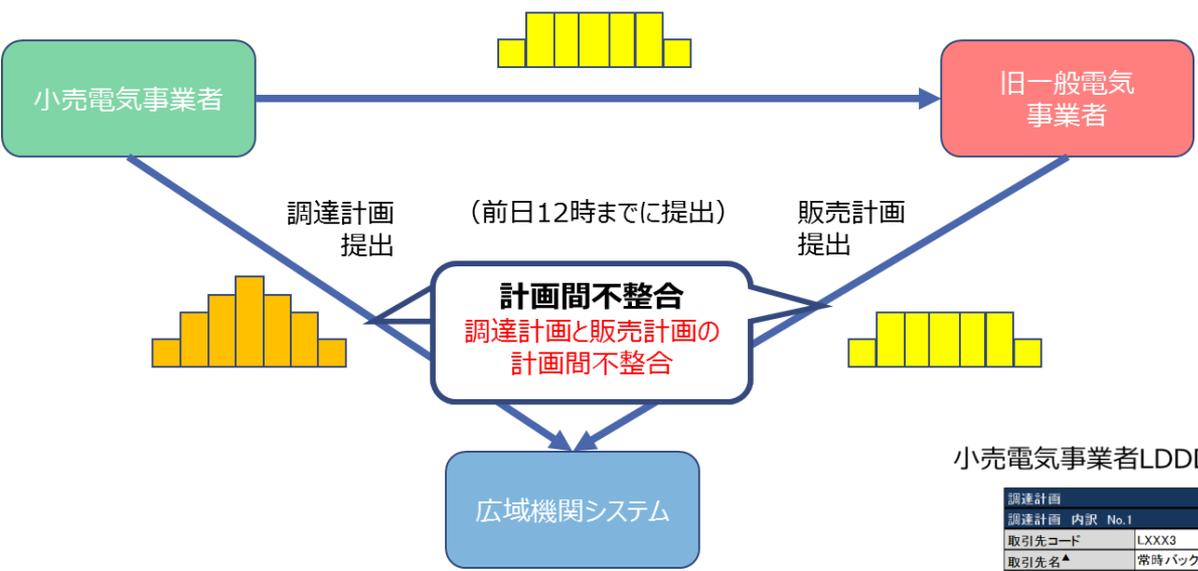
3-3) 取引チェックのエラー例・要因分析： 計画値（常時バックアップ）

記載要領 P.88

間違い例) 常時バックアップを契約している小売電気事業者の調達計画と 該当する旧一般電気事業者の販売計画が計画値不一致

→ 常時バックアップを契約している小売電気事業者は、
旧一般電気事業者に提出した給電申合書に基づき提出した調達計画値と
広域機関システムに提出する調達計画値が一致している事を確認してください。

給電申合書に基づく調達計画
(前日10時半*提出) ※各契約に基づく



小売電気事業者LDDD3の調達計画

調達計画			
調達計画 内訳 No.1			
取引先コード	LXXX3		
取引先名▲	常時バックアップ(ダミー)		
電源特定コード▲			
広域指示	指示なし		
自動紐付除外	自動紐付除外なし		
申込番号	0399999999999		
	▲		※
調達計画(確定) (kWh)	変更▲	調達計画(未確定) (kWh)	変更※
0		0	
1,000		0	
2,000		0	
3,000		0	
4,000		0	
3,000		0	
2,000		0	
1,000		0	
0		0	

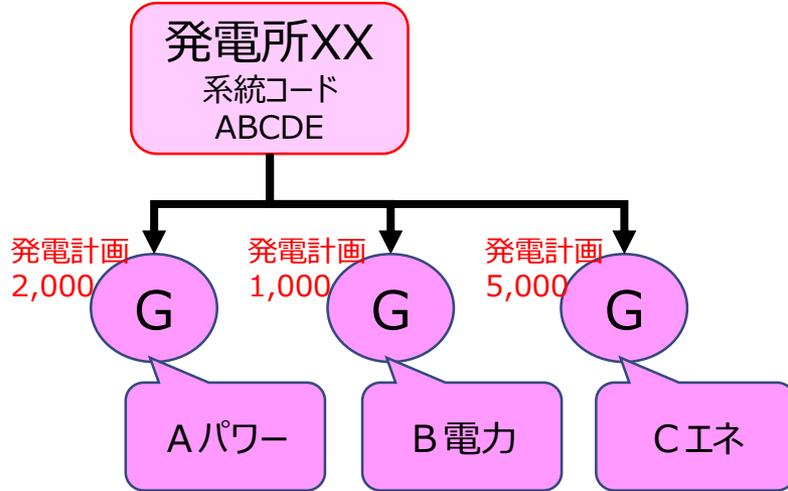
旧一般電気事業者LXXX3の販売計画

販売計画			
販売計画 内訳 No.1			
取引先コード	LDDD3		
取引先名▲	広域パワー(需要BG東京)		
電源特定コード▲			
広域指示	指示なし		
	▲		※
販売計画(確定) (kWh)	変更▲	販売計画(未確定) (kWh)	変更※
0		0	
1,000		0	
2,000		0	
2,000		0	
2,000		0	
2,000		0	
2,000		0	
1,000		0	
0		0	

計画間不整合
調達計画と販売計画の
計画間不整合

・同時最大受電電力のチェック

発電所マスタ	
系統コード	ABCDE
同時最大受電電力	7,500



Aパワー	発電所XX (ABCDE)
発電計画	2,000
B電力	発電所XX (ABCDE)
発電計画	1,000
Cエネ	発電所XX (ABCDE)
発電計画	5,000

合計
8,000

超過エラー



事例

考えられる要因

コードの設定間違い

発電所コードの入力間違い (1号機と2号機に同じコードを入力、など)

計画値の入力間違い

単純な入力間違い、事業者間の連絡不備による誤認識

参考1：過去のエラー事例

間違い例) 発電販売計画（FIT等）を提出する事業者の事業者マスタに
 発電ライセンスの設定がされていない
 → 発電販売計画を提出するには、事業者マスタのライセンス情報に
 「発電ライセンス」の設定が必要です

事業者マスタ申請

ライセンス情報					
選択	区分	登録・承認番号	登録・届出年月日	登録抹消年月日	同時同量種別
<input checked="" type="checkbox"/>	小売	ZZZZZ	2016/02/01		計画値
<input type="checkbox"/>	発電				
<input type="checkbox"/>	送配				

事業者マスタのライセンス情報のチェック

発電販売計画を提出する事業者（送信事業者）の事業者マスターのライセンス情報に「発電ライセンス」が選択されていない

(翌日) 発電販売計画

計画値XML読込	対象年月日	
通知XML読込	基本情報	
計画値XML出力	情報区分	0150 (翌日) 発電販売計画
終了(上書保存)	提出先事業者	10022 東北電力
	送信事業者	49982 広域パワー
	BG/計画提出者	G8882 広域パワー(計画提出者東北)
	運用モード	通常

同時同量種別	提出計画	事業者マスタのライセンス設定	
		区分	同時同量種別
計画値同時同量	発電販売計画	発電	計画値
	需要調達計画	小売	計画値
	連系線利用計画	—	計画値
実同時同量	発電計画	小売	実需
	需給計画	小売	実需
	連系線等利用計画	—	実需

- 小売電気事業者が発電事業者には該当しないものの、発電量調整供給契約を締結し発電販売計画（FIT等）を提出する場合は「発電ライセンス」の設定が必要となります。この場合は、「発電ライセンス」の「登録・承認番号」/「登録抹消日」は空白、「登録・届出年月日」は発電量調整供給契約の契約開始日を設定してください。

事業者マスタ申請					
ライセンス情報					
選択	区分	登録・承認番号	登録・届出年月日	登録抹消年月日	同時同量種別
<input checked="" type="checkbox"/>	小売	ZZZZZ	2016/02/01		計画値
<input checked="" type="checkbox"/>	発電		2016/04/01		計画値
<input type="checkbox"/>	送配				

間違い例) 発電販売計画と発電販売計画マスタの契約識別番号 1 が一致していない
 → 一般送配電事業者より発番された正しい契約識別番号に修正してください

発電販売計画マスタ申請

BG情報				
削除	BGコード	BG名	契約識別番号1	契約識別番号2
<input type="checkbox"/>	GBBC2	広域パワー (火力) BG	000000000000000DUMMY	000000000000000DUMMY

契約識別番号 1 のチェック
 発電販売計画と発電販売計画マスタの契約識別番号 1 が一致していない

発電計画 発電BG No.1			
発電BGコード	GBBC2	発電BG: No.1	
発電BG名▲	広域パワー(火力)BG		
契約識別番号1	99999999999999999999	発電BG名(広域パワー(火力)BG)	
発電計画 BG計		発電計画 内訳 No.1	
発電計画BG計= ΣBG内の発電計画	系統コード	2SSS1	
	発電所名▲	広域パワー火力発電所1	
	契約識別番号2◆	88888888888888888888	
	電源(BG)種別	非調整電源	

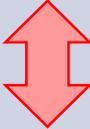
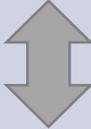
【契約識別番号の発番後のご対応】

- ① 発番販売計画マスタの変更申請をしてください。
- ② 発電販売計画マスタの登録完了通知メールを受領後※1 から、契約識別番号を修正して発電販売計画を提出してください。

※1 事業者様からの申請後、広域機関がマスタ登録を完了（登録完了通知メールを送付）するまでに発電販売計画を提出された場合は、マスタ登録が完了していないため、不整合となります。

【契約識別番号の入力番号】

契約識別番号 2 は、発電販売計画とマスタで取扱いが異なり、提出する発電販売計画には一般送配電事業者が指定する番号の入力が必須となりますので、ご注意ください。

計画／マスタ	契約識別番号 1	契約識別番号 2
発電販売計画	一般送配電事業者指定の番号  整合チェックあり	一般送配電事業者指定の番号  整合チェックなし
発電販売計画マスタ	一般送配電事業者指定の番号	blank※2

※2 契約識別番号 2 は、エリアにより発電BG内の系統コード単位に異なる番号が発番される場合もあるため発電販売計画マスタはblankとしてください。

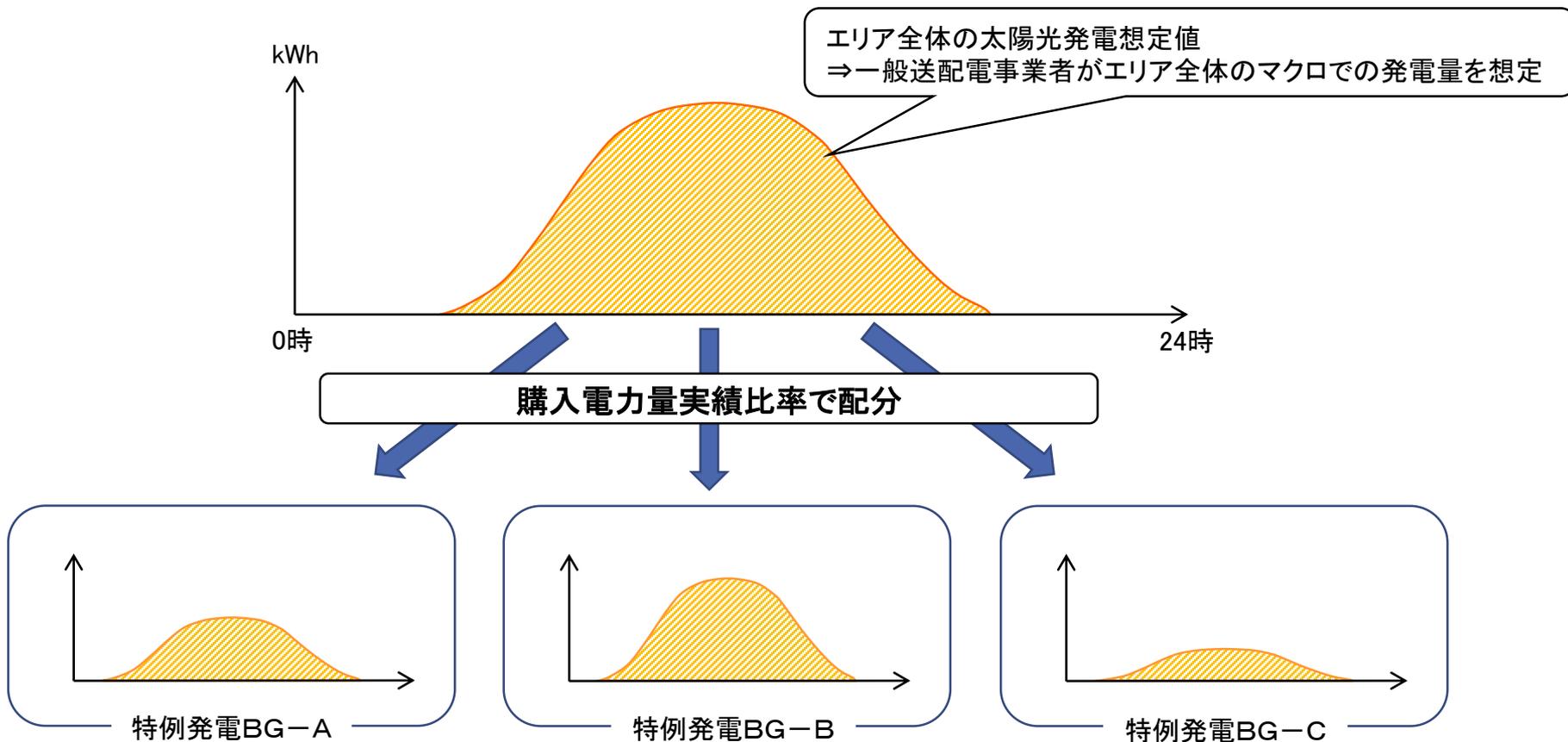
間違い例) 連系線利用計画マスタの送電側 (または受電側) の
 BG/計画提出者コードと異なるコードを記載した連系線利用計画を提出
 → 連系線利用計画マスタに登録されているコードを記載して計画提出をしてください

利用計画情報(広域パワー(東北⇒東京)) No.1		
申込番号	0320160311X01	
申込計画名▲	広域パワー(東北⇒東京)	
(送電側)BG/計画提出者コード	G8882	広域パワー(計画提出者東北)
(送電側)電源特定コード▲		
(受電側)系統コード(エリア)	30000	東京
(受電側)BG/計画提出者コード	LDDD3	広域(需要BG東京)
契約電力(kW)	9,999,999	
一部送電可容量登録	一部送電可容量登録する	
マージン利用	マージン利用なし	
マージン使用	マージン使用なし	
運用容量拡大	運用容量拡大あり	
5分値展開要否	5分値展開しない	
計画変更▲		
通告変更識別	通告変更に対応しない	

送電側/受電側コードのチェック
 連系線利用計画マスタと異なる送電側 (または受電側)
 BG/計画提出者コードを記載

取引方法が変更された計画が散見されました
 (例えば 計画提出者(発電) → 需要BG ⇒ 需要BG → 需要BG に変更)

参考2：FIT関連 参考資料



※一発電所から複数の小売電気事業者の購入(部分買取)がある場合も、エリア送配電からは特例発電BG単位(エリア全体の想定値の比例按分、BG合計値)で配分する

(参考) 太陽光・風力の発電計画配分方法

- FIT特例①を適用する太陽光・風力については、特例発電BGが属するエリアの一般送配電事業者が、実需給の前々日16時までに、当該BGの発電計画値（翌々日24時間分）を広域機関システムに登録する。
- 発電計画値は、エリアマクロで想定した発電電力量を購入電力量実績比率で按分して算定。
- 一般送配電事業者が通知した発電計画値について、基本的には通知以降の見直しは行わない。

<太陽光・風力の想定発電電力量の配分の考え方>

一般送配電事業者が想定したエリア全体の発電電力量（電源種別ごと・30分単位）を小売電気事業者の実績の購入電力量比率（電源種別ごと、3ヶ月前実績）で配分する。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{小売事業者A} \\ \text{BG毎に配分する電力量} \\ \left[\begin{array}{c} \text{電源種別ごと} \\ \text{30分単位} \end{array} \right] \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{エリア全体の} \\ \text{想定電力量} \\ \left[\begin{array}{c} \text{電源種別ごと} \\ \text{30分単位} \end{array} \right] \\ \hline \end{array} \times \frac{\begin{array}{|c|} \hline \text{小売事業者AのBG毎の購入電力量（電源種別ごと、3ヶ月前実績）} \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \text{エリアの全小売事業者の購入電力量（電源種別ごと、3ヶ月実績）} \\ \hline \end{array}}
 \end{array}$$

※：3ヶ月前実績（月間値）を用いるのは、実績集約期間を考慮

※新規に調達を開始し、3ヶ月前の購入電力量実績が無い場合は、同一の電源種別の平均原単位（3ヶ月前実績ベース）に設備認定出力（kW）を乗じた値を購入電力量（3ヶ月前実績）とみなして、配分電力量を算定する。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{平均原単位} \\ \left[\begin{array}{c} \text{電源種別毎} \end{array} \right] \\ \hline \end{array} \text{ [kWh/kW]} = \frac{\text{エリアの全小売事業者の購入電力量[kWh]}}{\text{エリアの全小売事業者の認定出力[kW]}}$$

参考3：作業停止計画の提出について

発電計画を提出する事業者さまは、送配電等業務指針第12章に基づき、作業停止計画を提出する必要があります。

【送配電等業務指針 別表12-1】

	年間計画 (翌年度・翌々年度)	月間計画 (翌月・翌々月)	各計画の変更・ 計画外作業停止
原案	毎年10月末頃	毎月1日頃	不定期 (速やかに)
調整案	毎年12月末頃	毎月10日頃	
最終案	毎年2月中旬	毎月中旬	

【送配電等業務指針 別表12-2】

対象設備	計画提出者	提出先
流通設備の 作業停止計画	作業停止計画提出者	流通設備の存する供給区域の一般送配電事業者
発電設備の 作業停止計画	発電計画提出者	本機関

なお、発電設備の作業停止計画は、**一般送配電事業者と電気供給事業者の間で「作業停止計画の調整対象とする旨を合意した電力設備」**について、本機関へ「広域機関システム ファイルアップロード方式」により提出いただくことになっています。

参考4：各種資料参照先

- ・広域機関システムでの計画提出について

http://www.occto.or.jp/jigyosha/kouikikikansys_information/2016-0204-kouikisysteminformation.html

- ・各種計画の作成・提出に関するFAQ

http://www.occto.or.jp/jigyosha/kouikikikansys_information/files/160415_FAQ_r3.pdf

- ・システム連系に関する規格等

http://www.occto.or.jp/jigyosha/shisutemurenkei/2016_0331_systemrenkei_kikaku.html

発電計画等受領業務EDI共通規格(Ver.3A)

発電計画等受領業務ビジネスプロトコル通信手順および受信確認 メッセージ標準規格(Ver.1.1)

発電計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格(計画値同時同量編)(Ver.3A)

- ・広域機関システム操作マニュアル

http://www.occto.or.jp/jigyosha/kouikikikansys_information/2016-0222_keikakuteisyutsu_onegai.html

- ・広域機関システム内 各種情報 (計画提出関係)

広域機関システム→[公表]タブ→その他情報→各種情報参照→各種情報

キー情報のカテゴリを[計画提出関係]で検索

1. 計画作成・提出

エラー対応など急ぎのお問い合わせはお電話で、
計画作成方法など一般的な問い合わせはメールでお願いします。

- ・メール： keikaku-uketsuke@occto.or.jp
- ・電話： 03-6634-6694、6695、6696、6697

2. マスターデータ登録、連系線利用

メールでのお問い合わせをお願いいたします。

- ・登録申請専用メール： code@occto.or.jp
- ・問い合わせ専用メール： code-master@occto.or.jp